

大井町まちづくりアンケート調査概要

1 町民の属性について

- ① 買い物、通院等の日常の生活圏については、「小田原市」が71.7%と最も高く、「大井町」が前回の11.5%（第4位）から53.4%（第2位）と大幅に増加した。
- ② 大井町での居住期間は、「20年以上」が43.2%と最も高く、次いで「10～19年」が16.9%、「生まれてからずっと」が16.8%となっている。
- ② 大井町に住み始めた理由は、「探していた条件に合った物件が見つかったから」が26.9%と最も高く、次いで「親がいる又は持ち家があったから」21.2%、「大井町民と結婚したから」20.5%と続いている。
- ③ 大井町の住みよさは、前回の64.7%から57.3%に減少した。
- ④ 今後の居住意向は、「住み続けたい」、「住み続けても良い」が78.8%であるが、20歳代では60.7%となっている。

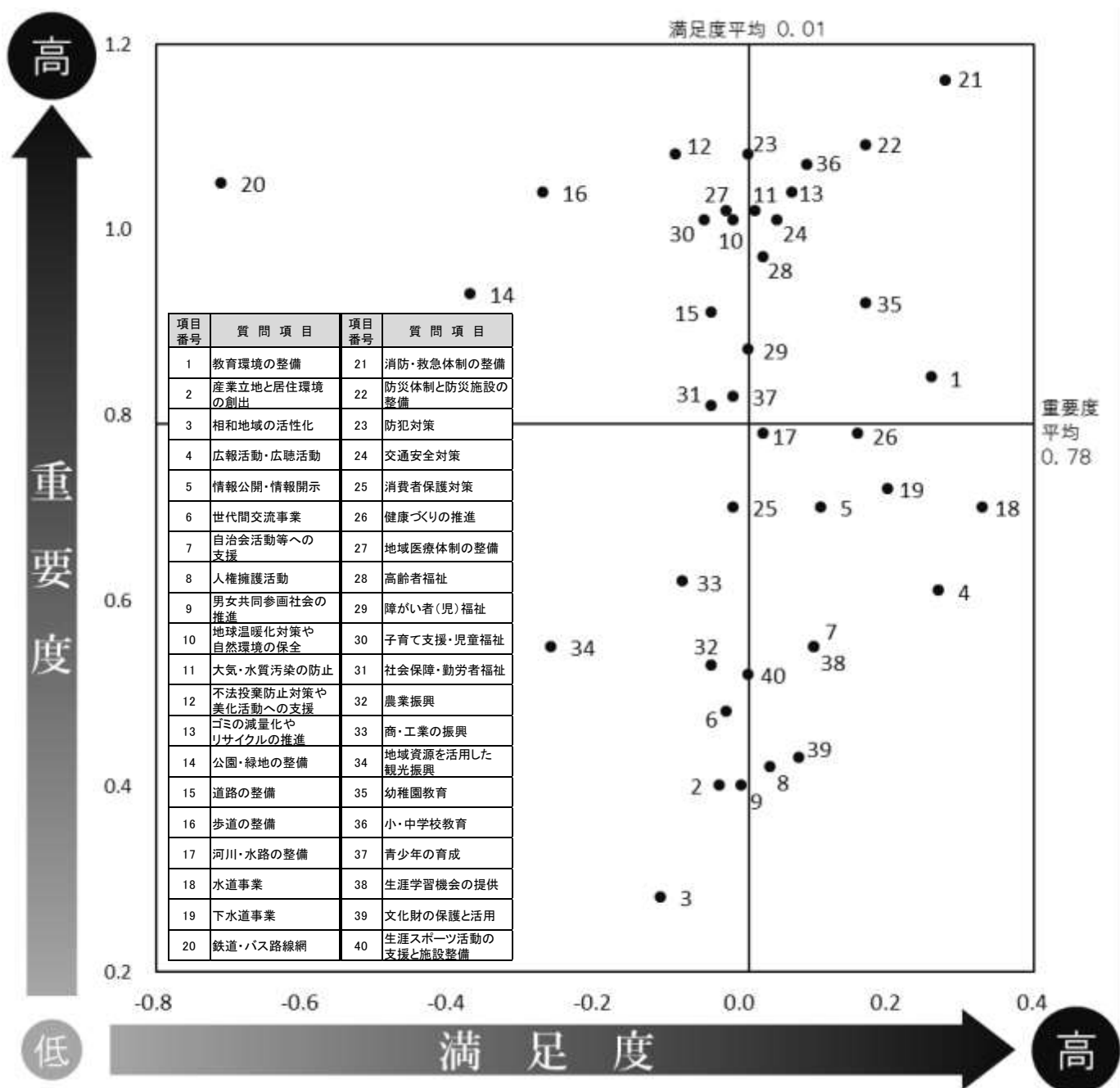
2 大井町の将来像や今後のまちづくりについて

- ① 人口と開発の関係については、「人口を少しずつ増加させるため、開発を行う」が36.5%と最も高く、次いで「人口を増加させるため、開発を行う」が前回14.8%から21.4%に増加し、「人口も開発も成り行きにまかせてよい」が前回17.4%から9.8%に減少した。
- ② 地球環境問題に関して取り組むべきことは、「太陽光や風力など自然エネルギー等の有効活用」が43.3%（前回第2位）と最も高く、次いで「リサイクルの推進などゴミの減量」が前回42.5%（第1位）から下がり31.8%となった。
- ③ 整備を希望するものは、「防犯灯」が42.1%と最も高く、次いで「信号・カーブミラー等の交通安全施設」が30.1%、「公園」28.7%、「家のまわりの生活道路」28.1%、「子どもの遊び場」27.3%と続いている。「公園」は前回の16.9%から大幅に増加した。
- ④ 健康増進施設として希望するものは、「公園、芝生広場」が45.1%と最も高く、次いで「温浴施設」が41.1%、「ランニング・ジョギングコース」31.3%、「プール・水泳教室」30.2%、「スポーツクラブ、ジム」20.0%、「パークゴルフ」16.7%となっている。20歳代では、「プール・水泳教室」が42.9%、「スポーツクラブ、ジム」39.3%と高く、60歳以上では「パークゴルフ」が25.8%と高い。
- ⑤ 行財政改革を進めるために取り組むべきことは、「行政組織の簡素・効率化」が51.7%と最も高く、次いで「積極的でわかりやすい情報公開」が33.5%、「行政業務の一部民営化など民間活力の導入」が32.2%と続いている。

3 行政の施策や事業への取り組みについて

- ① 満足度の高い順は、「水道事業」33.0%、「広報活動・広聴活動」32.3%、「消防・救急体制の整備」32.0%となっている
- ② 満足度の低い順は、「地域資源を活用した観光振興」5.4%、「鉄道・バス路線網」6.4%、「商・工業の振興」7.2%となっている。
- ③ 重要度の高い順は、「消防・救急体制の整備」65.8%、「不法投棄防止対策や美化活動」64.6%、「歩道の整備」63.8%となっている。
- ④ 重要度の低い順は、「人権擁護活動」31.3%、「男女平等参画社会の推進」31.7%、「文化財の保護と活用」32.2%となっている。
- ⑤ 重要度が高く、満足度が低いものとして「鉄道・バス路線網」（重要度63.3%、満足度6.4%）、「公園・緑地の整備」（重要度59.4%、満足度11.0%）、「歩道の整備」（重要度63.8%、満足度16.5%）があげられる。

－重要度と満足度の関係－



4 まちづくりへの参加と協力について

- ① 町について特に知りたい情報は、「町が将来的に進める事業やその内容」が 38.7%と最も高く、次いで「町が現在実施している事業の内容や進みぐあい」29.9%、「町が抱えている課題」28.6%（前回 37.1%）となっている。
- ② 地域づくりやまちづくり活動に対する関心は、関心のある方が 61.1%と前回の 66.5%、前々回の 69.9%から徐々に低下している。性別でみると関心のある方は男性 66.5%に対し、女性が 57.4%となっている。
- ③ 町に対する意見の伝え方としては、「アンケート調査で十分である」が 32.5%と目立って高く、次いで「町民の自主的な集まりがあれば参加したい」12.0%、「議員や専門家にまかせる」11.2%と続いている。